

第2回 「嶺南ふるさと学習」 推進プロジェクト会議

日時 令和4年1月21日(金)14:00～
福井県教育庁嶺南教育事務所
敦賀市教育委員会・小浜市教育委員会
嶺南地区県立学校・嶺南地区公立小中学校
オブザーバー:福井大学・福井大学教職大学院

「嶺南ふるさと学習推進プロジェクト」 構想について

「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト

嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」

知る

つなぐ
広げる

つくる
かかわる

育む「ふるさと愛」

- ・地域を生かす、守る
- ・地域とつくる、育てる



育てる「資質・能力」

- ・自ら「問い」をつくる力
- ・対話力、協働する力
- ・発信力、課題解決力

高校

中学校

小学校

探究的な学習活動の充実
つきたい力の系統化

「問い」を
深く探究

嶺南教育事務所
推進プロジェクト実行委員会

- 調査・研究プロジェクト
 - ・資質・能力の評価（調査・研究）
- 学び・交流推進プロジェクト
 - ・R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム
- 連携サポート・広報プロジェクト
 - ・学校事業のサポート（訪問研修等）
 - ・情報の発信（HP、STEP等）

嶺南市町教育委員会・学校（小・中・県立学校）推進プロジェクト

「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクトの進め方

第1ステージ
(令和3～5年度)

知る

- 資質・能力の評価方法の調査・研究
- 県事業を軸にした異校種間のつながりづくり
- 情報の発信・交流・共有
(R-cafe、嶺南教育実践フォーラム等)



第2ステージ
(令和5～6年度)

つなぐ
広げる

- 資質・能力の評価方法の試行・調査
- 異校種間と「つなぐ」「広げる」
- 教科と学びを「つなぐ」「広げる」
- 情報の発信・交流・共有
(R-cafe、嶺南教育実践フォーラム等)



第3ステージへ
～つなぐ～

つくる
かかわる

- 資質・能力の活動・評価の充実期へ
- 自ら「問い」をつくる
- 自ら「つながり・かかわり」をつくる
- 情報の発信・交流・共有
(R-cafe、嶺南教育実践フォーラム等)



福井県教育振興基本計画の推進

嶺南市町教育委員会・
学校の発展的な取組

「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト組織

市町教育委員会・ 学校 推進プロジェクト

○「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクトに沿った学習活動の推進

- 嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」の展開
- 学校間、異校種間（小・中・県立学校）の連携
- ふるさと素材、地域サポート人材の発掘
- 嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」における評価の充実

嶺南教育事務所 推進プロジェクト 実行委員会

○調査・研究プロジェクトチーム

- 嶺南のふるさとを生かした「探究的なふるさと学習」における
資質・能力の評価方法を調査・研究

○学び・交流推進プロジェクトチーム

- R-cafeの開催（オンラインによる「嶺南ふるさと学習」研修会・交流会）
- 教育実践フォーラムにおける実践校の発信と共有
- 「嶺南ふるさと学習」を軸にした小・中・県立学校のオンラインによる交流

○連携サポート・広報プロジェクトチーム

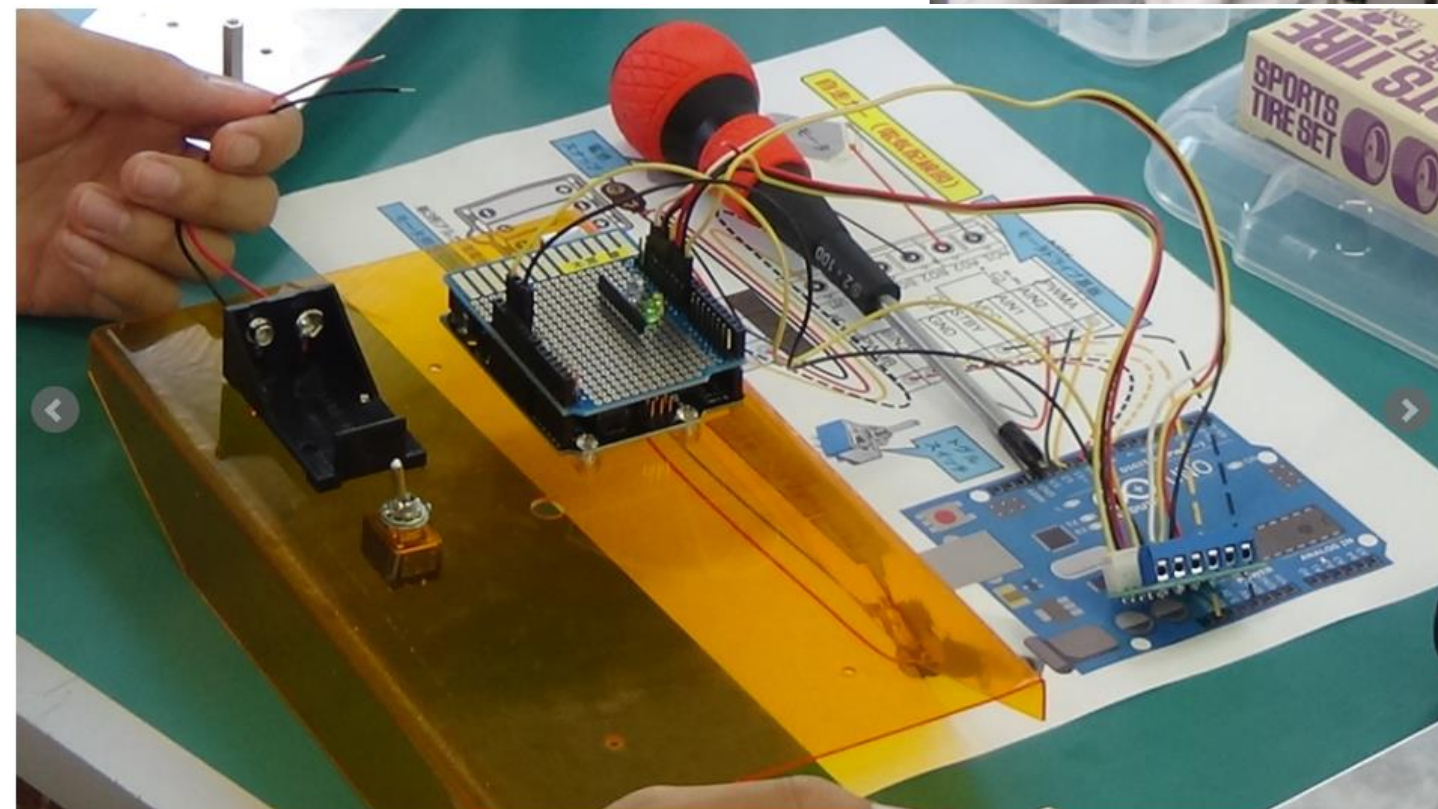
- 学校事業のサポート（訪問研修・要請訪問）
- 情報の発信（HP、STEP等）
- 嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」のサポート、実践校の情報発信

敦賀高等学校



敦賀工業高等学校

いかに、企業と若者を つなげるか



高校生ものづくりコンテスト全国大会で日本一



美方高等学校



美 研 立 美 方 高 等 学 校 「 私 た ち の 未 来 」 中 間 発 表 会



2つの「原動力」の定義

①人が物理的に動く原動力

芸術系のイベントに対して、
実際にどれだけの人が動く(参加する)かというもの

②作品から人が受けるポジティブな原動力

作品から得た効果が、人の行動を益さきっかけに繋がるもの



探究学習発表会



上中中「先輩ティーチャー」



三方中「先輩ティーチャー」



三方中

三方中動画参加！



中学生多数参加！



気山小「エプロン製作」



マスクづくり

レピア「地域交流イベント」



組みひもづくり

若狭東高等学校

明日の若狭を創るのは君たちだ！ 若狭東高等学校

3年生 地域密着型 ふるさとサポート活動

板測量競技



地域創造

地域の密着・学習者主体の創造、地域課題を軸として、地域密着の発展に貢献する。

1. 地域創造科特色
1年生では全県の農業と連携・連携、農業と地域の産業、基本学力向上、地域課題を軸として、地域密着型「1年生地域創造」を実施。2年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「2年生地域創造」を実施。3年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「3年生地域創造」を実施。
2. 専修科目
1年生の1学期専修科目：自然と環境、測量、農業と地域。2年生の1学期専修科目：自然と環境、測量、農業と地域。2年生の2学期専修科目：自然と環境、測量、農業と地域。3年生の1学期専修科目：自然と環境、測量、農業と地域。3年生の2学期専修科目：自然と環境、測量、農業と地域。
3. 地域創造科の特色
地域課題を軸として、地域密着型「1年生地域創造」を実施。2年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「2年生地域創造」を実施。3年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「3年生地域創造」を実施。
4. 地域創造科の目標
地域課題を軸として、地域密着型「1年生地域創造」を実施。2年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「2年生地域創造」を実施。3年生では「地域創造」を軸として、地域密着型「3年生地域創造」を実施。

福井県立若狭東高等学校 課題研究発表会

[研究発表会]

1. 地域創造科 2班
「まちづくりの提案」
2. 生活創造科
「食育に関する研究と子ども向け高学年レストラン」
3. 電気・機械科
「電気コース」
4. ビジネス情報科
「経営コース」

明日の若狭を創るのは君たちだ!



地域活性化 地域貢献

放送部による高浜中学校授業サポート 地域小学校へのプログラミング学習サポート活動



点滴灌水装置の製作

研究者：磯野 寛人・藤田 直斗・永戸 航平・瀬岡 翔・森 有太・岡本 凌空

1、研究理由

点滴灌水制御装置を製作し、植物に与える水分量を調節することで、育成に最適な環境を研究する。

研究内容
【点滴灌水制御装置の制作】

3、感想

点滴灌水装置の製作では、プログラムや植物育成など分からないことも多くあり、改良しながら実験までたどり着くことができました。この点滴灌水装置が作物の育成に役立ってくれるなら幸いです。

展示物には触れないでください!!

電子機械コース
点滴灌水制御装置の製作
研究チーム 磯野 寛人・藤田 直斗・永戸 航平
瀬岡 翔・森 有太・岡本 凌空

点滴灌水制御装置
土壌の水分センサーにより植物の生育環境に最適な水分量を供給し、最適な生育環境を創出しました。

若狭高等学校

探究活動の推進による「自走する生徒」の育成

1 Student Agencyの育成

主体的に考え、行動し、責任を持って社会改革を実現していく意思や姿勢を持つ生徒の育成

2 Co-Agencyの育成

3 「地域資源活用型探究学習による地域と世界を結ぶ科学技術人材の育成」



地元支援第2弾は
「E-space！」



サバ缶の次は「フナ缶」に挑戦！
「サワラ缶」や「キャビア」も研究

学力(進研模試)の伸び!

3年生	国数英	福井県1位	全国34位
	理系	福井県2位	全国40位
	文系	福井県1位	全国1位

2年生 **全クラスの成績がアップ**
校内過年度比較(過去4年間)でトップに

ふくい理数GP 物理最優秀賞 若狭



ルーブリックを参照して自己評価に取り組むだけではなく、課題研究の過程で、**教員と生徒が一緒になって評価基準表を活用しながら自己評価をすることが**生徒の資質・能力の**メタ認知**に寄与することが明らかに!

部活動への取り組みにも変化が!

R1~キャプテンを中心とした生徒主体の部活動への転換

- 複数の部で、生徒が自主的に地域スポーツクラブ等に参加
- 地域クラブでの練習を部活動に導入 選手選考も生徒の手で
- 実績は従来と比べて遜色なし むしろ今後向上の可能性

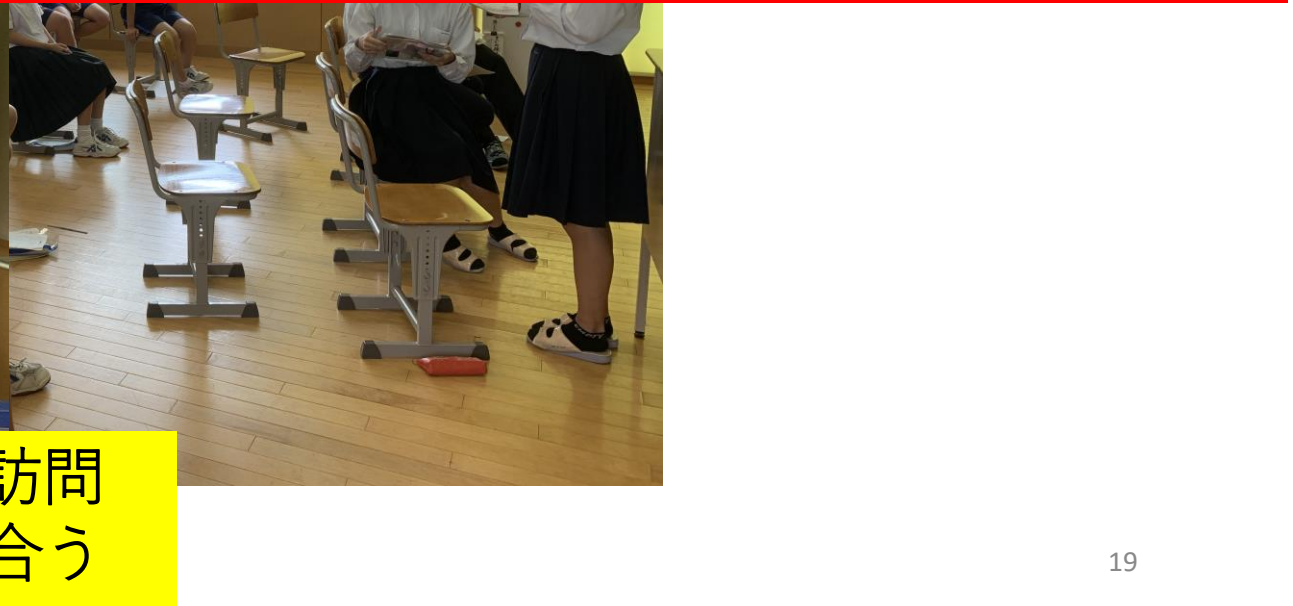


内外海小学校訪問

「若狭高校生は小中学生のロールモデルである」 小浜市窪田教育長



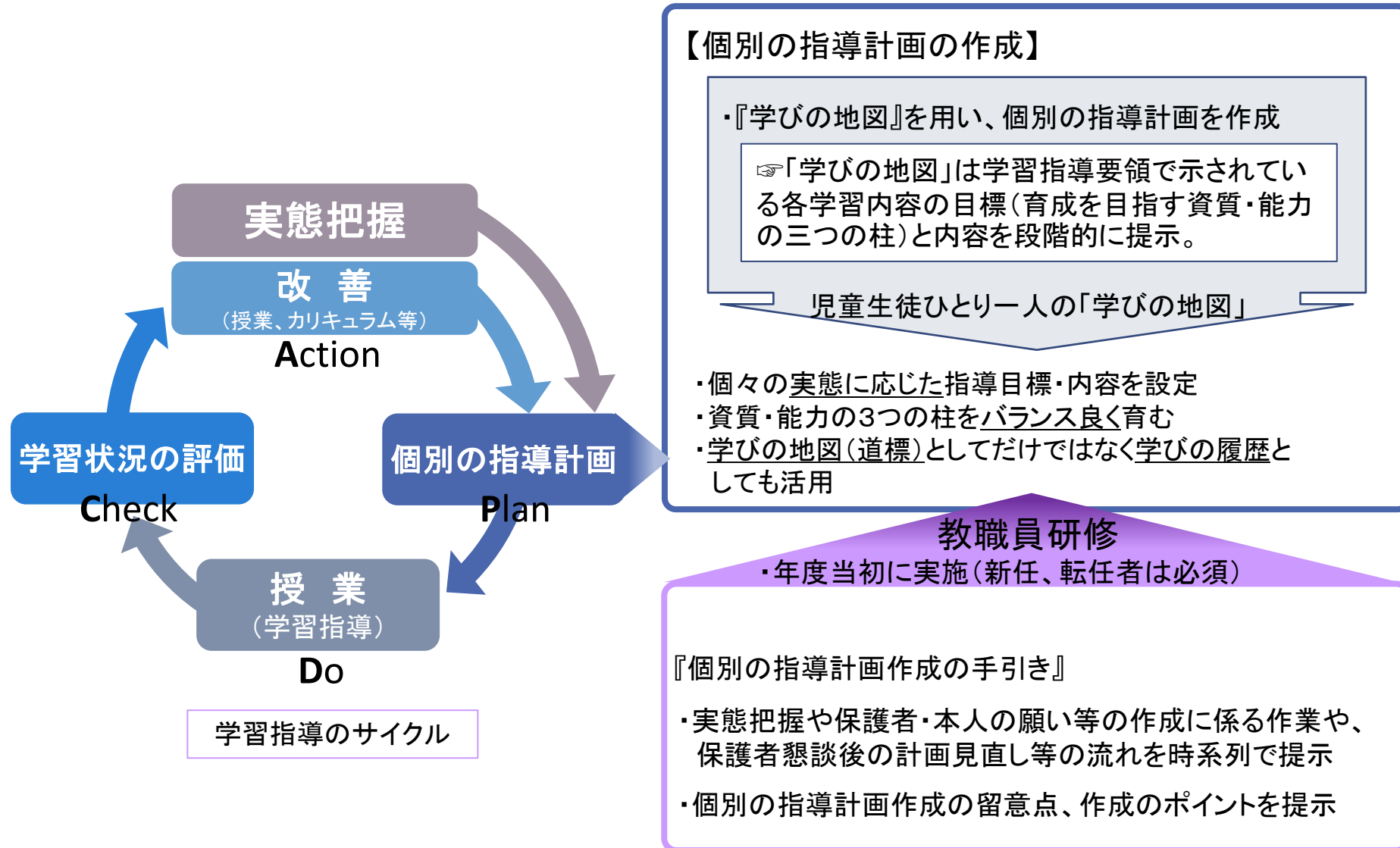
小浜中学校訪問
互いに学び合う



嶺南東特別支援學校

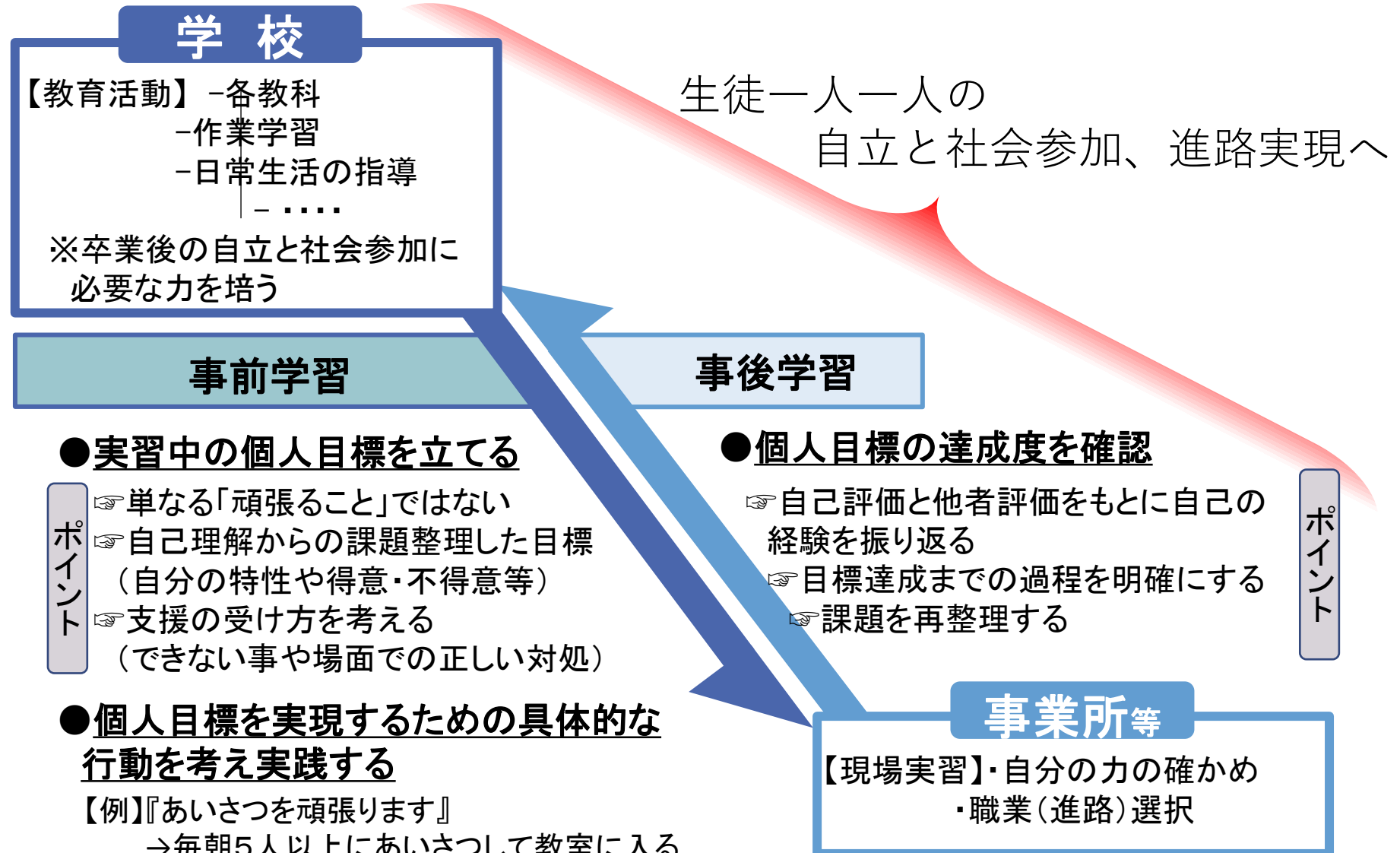
『学びの地図』を用いた個別の指導計画の作成

福井県立嶺南東特別支援学校



自己理解を深めた進路実現に向けて(現場実習)

福井県立嶺南東特別支援学校



嶺南西特別支援学校

嶺南西特別支援学校 高等部(知) 作業学習紹介ビデオ

高等部(窯業班、木工班、クリーン班、エコグリーン班)

○テーマ設定(授業で学んでいること)

- ・内容(何を伝えるか)
- ・方法(どのように伝えるか)

○紹介ビデオを制作

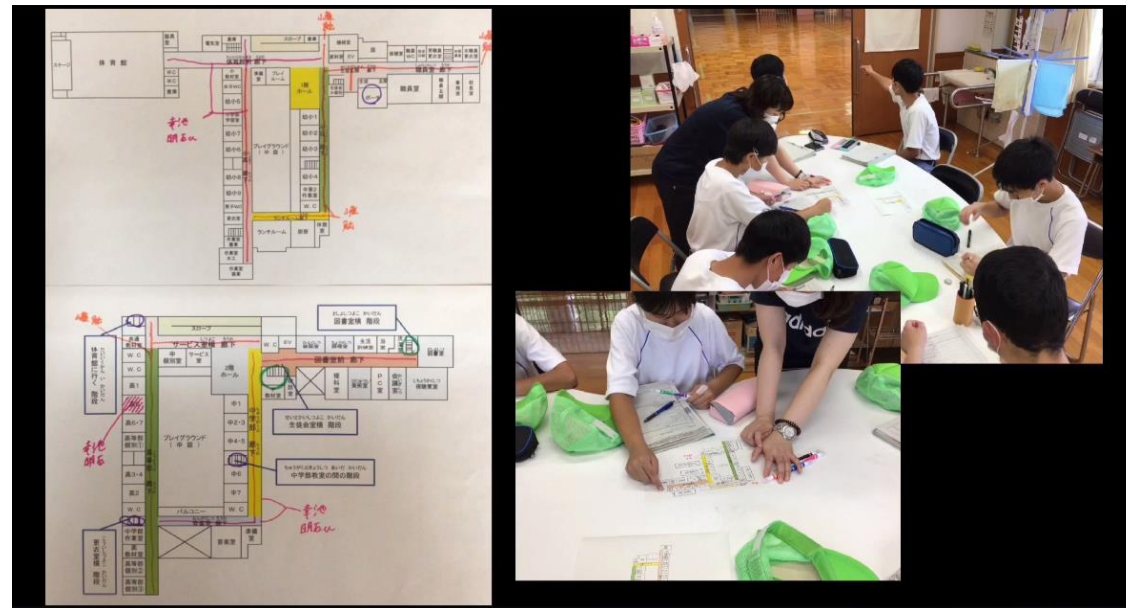
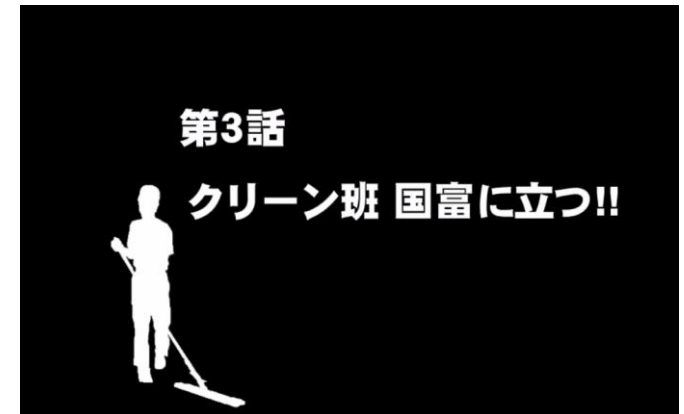
- ・シナリオ
- ・撮影、効果音等

○発表

- ・学校祭、交流学习

○評価

- ・観察、エピソード(制作過程)



嶺南西特別支援学校 中学部(肢) 総合的な学習 ゾウつなぎ岩

○テーマ設定(地域)

- ・生徒自身が地域(内外海地区)の伝承から決定

○取組

- ・長期間(5ヶ月)
- ・一人学習(教師が相談相手)
- ・語り部の方と一緒に校内で発表

○評価

- ・エピソード(調べる姿、仮説検証の過程等)
- ・ポートフォリオ(プレゼン)

参考にした資料

- ・「象つなぎ岩」倉谷千恵子著 2007「ふるさと探訪」P53～54
- ・「日本に初めて象が来た港」2005「新わかさ探訪」P132～133
- ・「海外視点・日本の歴史」第7巻 和田久徳著 1986 P114～115
- ・「象の来た古津の湊」倉谷千恵子著 2013「内外海の記憶」P55～60
- ・「海域世界の中の日本海沿岸地域」高橋公明著 P24～28
- ・「福井県史」通史編 2 1994 P864～865
- ・「不思議の国を育んだ対馬海流と酒井忠勝」小畑昭八郎著 1991「港湾にみなぎる進取の気風」P108～109
- ・「小浜市史」通史編 上巻 1992 P686～689
- ・「海の日本史」中江克己著 1996 P135～136
- ・「日本の歴史」第14巻 高橋公明著 2001 P322～326
- ・「象の渡来」山名暢雄著 1981「若狭文学」第20号 P4～22



〈象が来た港の様子を描いた絵画(現代)〉

敦賀市立
東浦小中学校

ふるさと学習～みかんプロジェクト～

敦賀市立東浦小・中学校

～フルーツ共和国 講師 4名 縦割り班～

H30～ 剪定



摘果

H18～



販売

H29～



収穫

H18～



R2 科技高との交流学习

- ・マスコット
- ・のれん
- ・のぼり
- ・はっぴ



R3 みかんサミット

- ・みかんビール
- ・みかん大福
- ・アロマオイル



R4 検討中

ふるさと学習～阿曾相撲甚句・海岸清掃・ふれあいフェスタ～



相撲甚句講習会(保存会 4名)



海岸清掃(区長・有志 5名)



ふれあいフェスタ(保護者・地域65名)

ふるさと学習とは・・・

ふるさとを知る
人との交流
社会体験活動の一つ
魅力の発信
他の教科の学びに繋げていく
新たな可能性
地域貢献
生き方を考える

ふるさと愛

地域を担う人材

小浜市立
今富小学校

小浜市立今富小学校 中華まん「サバまん」

・「サバまん」の企画・販売・PR

令和元年

4月「ふるさと小浜MIRA
I事業」の指定
市長からの依頼

小浜を元気にするには？

9月児童が鯖についてのメニューを「サバまん」に決定

11月今富ふるさとまつりで試食・アンケート
12月若狭高発表について協同
1月キャラクター・シール作成

令和2年

6月パッケージデザイン決定
10月PR練習

11月「サバまん」発表記者会見・販売開始

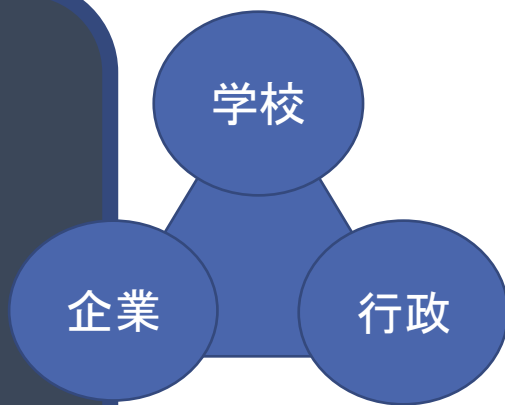
12月市役所で市長に報告及びPR・販売活動



小浜市立今富小学校 中華まん「サバまん」

11月「サバまん」発表記者会見・販売開始

- ・レストラン「キッチンブー」高野さん
 - ・市農林水産課 畑中さん
 - ・「Cネットふくい」(商品化・販売)
 - ・デザイン工房「MATT」
 - ・福井観光連盟
- 製品発表会
テレビ局3局・新聞社4社



発表会の翌日の1面を飾る(ちなみにこの横は米大統領選)

<評価> 学校評価
「ふるさと小浜(今富)のよさがわかる」の肯定的評価
(児童)99%
(保護者)90%

小浜市立今富小学校 中華まん「サバまん」

令和3年



5月～小浜のPR計画
動画作成及び「サバまん」の新製品考案・試食

9月勝山市平泉寺小来校 サバまん試食
10月勝山市平泉寺小訪問PR動画披露

11月サバまんカレー味発表 販売開始・記者発表
You tubeにて、PR動画配信開始
11月道の駅等で街頭PR活動



サバまんカレー味 食べて



小浜市今富小6年生が考案したカレー味のサバまん。26日、同校

みんなで
読もう

小浜市今富小児童は、考案した中華まん「サバまん」の第2弾となるカレー味を完成させ26日、同校で発表した。チームごとに制作した動画で新商品をPR。28日から道の駅若狭おばまなどで販売する。
同校は、小浜市の地域活性化を目指す、2019年からサバまんづくりを始めた。今年には6年生46人がカレー味の新商品開発に取り組み、追加具材として揚げやチーズなどを模索した。

小浜・今富小 児童考案、動画でPR

県立大小浜キャンパスにあるレストランのオーナー、高野滋光さん(52)の協力を得て試行錯誤を繰り返した。味がまとまる具材としてうどんを選び、カレー味を完成させた。この日は児童が9チームに分かれ、サバまんをPRする1、2分ほどのPR動画を発表。サバまんを考案した当時6年生へのインタビューや、タマネギを収穫する様子などを紹介した。伊藤瑠風さんは「主役のサバとの相性を考えながら具材を選んだ。たくさんの人に食べてほしい」と話していた。
販売価格は冷凍3個入り691円。問い合わせは製造・販売元のつぐみ福祉会若狭事業所へ0770(62)2590。(石川悠樹)

美浜町立
美浜西小学校

ふるさと美浜元気プロジェクト

美浜東小学校・美浜中央小学校・美浜西小学校
 3年「美浜の自然環境」 4年「美浜の福祉」
 5年「美浜のよさ」 6年「美浜の課題解決」

美浜西小学校の実践例

探究学習スタート

3年生

地域の探究

郷育コーディネーター、地域の環境活動家、漁協等との連携



郷育コーディネーターによる導入



レインボーラインの魅力調べ



久々子湖でしじみ漁体験



久々子湖周辺で生き物調査



三方湖でうなぎ筒漁体験

創造・発信

探究したことをもとに、自分たちにできることを考え、地域貢献



伝統漁法や環境に対する思いを知る



パンフレットと顔出しパネル製作



ドライブイン五湖の駅に贈呈



ドライブイン五湖の駅でパンフレット配付



ゴコイチバスにパンフレット贈呈

小学校の探究まとめ

6年生

地域の探究

YouTubeで地域の魅力を発信する若者グループ「ルート27」との協働課題解決



地域を回って話を聞き課題を設定



ルート27と地域の魅力を発信するCM企画会議



ルート27の撮影プロと動画撮影・編集練習



ルート27と地域を回って取材・撮影



会社を作って、CMで地域の魅力を発信！

創造・発信

町の課題について、地域の方と連携して解決のアイデアを考え、町民に提案



こんな美浜になったらいいなを考える



町の課題と取組を地域の方から教わる



子どもたちの希望の実現に向けて大人も考える



地域の方と課題解決のアイデアを考える



3校合同で地域の課題解決アイデアを提案する

中学校へ繋ぐ

ふるさと学習で身につく資質・能力／めざす姿

学校教育目標

美浜に誇りと愛着を持ち、夢や目標に向けて努力する子ども



- ◆問題解決能力
- ◆コミュニケーション能力

- ◆ふるさとへの愛着心の醸成

- ◆自らの進路を切り拓く力
- ◆社会参画の意識の向上



〈探究的な学習〉

- ・町づくり、地域がかかえる課題
- ・各種団体や関係機関との連携
- ・総合的な学習の時間を中心にした教科横断的カリキュラム
- ・総合的な学習の時間の充実

「空き家が多くなってきた。」
「問題を解決するには・・・。」

〈体験学習〉

- ・きれいな海や山、湖を体感
- ・自然のめぐみ
(シジミやウナギなど)
- ・地域の伝統や文化、歴史など
- ・福祉・健康

「レインボーラインっていいな。」
「湖にはたくさんの生き物が住んでいる。」

〈課題解決学習・情報発信〉

- ・児童が主体となった「ふるさと美浜元気フォーラム」の開催
- ・町内3小学校での学習交流会
- ・町の紹介パンフレットの配布
- ・社会に働きかけた実感
- ・社会をよりよくした実感

「私たちの手で、まちをよくしよう。」
「未来は自分の力で変えることができる。」

- ・地域で育てた子どもたちには、地域と子どもたちに絆が生まれ、その絆は将来の地域活性化の基盤となる。
- ・学校は、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる開かれた環境となる。

高浜町立
高浜小学校



SDGs in 高浜

Sustainable Development Goals

高浜を守るための7つの目標



1 海の生き物を守ろう

海の生き物を守ろう!!

ゴミがあつたら魚があつた環境が悪くなる

→ 魚もゴミもみつけたら持って帰ろう!!

高浜町の海のことについてよく知ろう!!

高浜町の海のホッパがあつたら目撃しよう!!

目標 高浜町の海のゴミをなくし生き物を守ろう!!

2 はだしで歩けるビーチを高浜に

目標
はだしで歩けるビーチを高浜に

<そのためにどんなことをするのか>

- ・少浜などのゴミ拾い(クリーンキャンペーン)
- ・ポイ捨て見つけたら注意
- ・人がつたところに看板をたてる
- ・世界の今のじょうきょうを知る

3 コロナ新規感染者を0に

コロナ 新規感染者を0に

そのための取組

- ・マスクをひかえる
- ・密集をさける
- ・手洗いもがさずにする

→ 履き替える、消毒、換気、人混みを避ける

3 すべての人に健康と福祉

4 身近な差別とたたかおう

○ 身近な差別とたたかおう

☆ いじめをなくそう

例えば...

- ・対2人以上のケツカは、やめよう!!
- ・相手の気持ちを考えよう!!
- ・町内での差別を知ろう!!

5 高小から世界に発信しよう

高小から世界に発信しよう!

具体的行動

- ・募金活動に参加する
- ・6年生全員で呼びかけ
- ・世界の貧困について学んで、チラシ、ポスターを作ろう
- ・生活保護(仮の家)かける
- ・人権週間(秋内放送で)貧困について知ってもらう

6年生全員が100円ずつ募金すると4300円になる!

1~6年生全員が100円ずつ募金すると25400円になる!

6 高浜町の伝統を守ろう

高浜町の伝統を守ろう!

<そのための行動>

- ・七年祭について調べて理解する
- ・七年祭のことを写真などをほったポストにまとめる
- ・進んで参加する(見に行く)
- ・七年祭を知らない友達や知り合いに伝える
- ・地域の文化施設に行く。

7 高浜の人口を増やそう

★ 高浜の人口を増やそう!!

具体的な問題
2040年には高浜がなくなるかもしれない

解決策
高浜の魅力を知らせてもらうためにPRをしよう!!

- ・高浜に住みかくなるように映像スポットを見せる
- ・たくさんの人に来てもらうよ! テレビなどで取り上げられるようなことを

まずは自分たちにできることから

厄介者 輝け 駆除ウニランプに

高浜小6年 活用策提案、商品化へ



高浜小6年生が考えた駆除したムラサキウニの有効活用案が15日、発表された。10案の中から投票で最多得票となった、ウニの殻を使ったランプの商品化に取り組み。地元のみちづくりグループ「高浜明日研究所」(明日研)とともにキャッチコピーやロゴ、パッケージ作りを進め、来年2月の商品化を目指す。(川上桂)

らにプレゼンテーションし、同校や公民館、イベント会場場で商品化してみたい案への投票を呼び掛けてきた。同校で明日研の名里裕介共同代表が投票結果を公表。約400票の投票があり、ランプ案が最多の160票を獲得した。今後、町内の事業者で作ってもらうか、児童らで作るか検討。児童はキャッチコピーや商品の説明カード、ロゴマーク作りに取り組み。ランプ案を考えた班の杉

左近大志君は「商品化が楽しみ」と喜ぶ。常盤七海さんは「選ばれてうれしい。(同町のシーフードマーケット) UMIKARAで販売してほしい」と期待を膨らませる。一和奏多さんは「パッケージやロゴマークをしっかり考え売れるようにしたい」と意気込んだ。同校と明日研は昨年も同プロジェクトに取り組み、児童考案のブドウ果汁を使ったゼリータルトが商品化された。

<p>① ウニカリッ羊羹</p>	<p>② ウニウニおにぎり</p>	<p>③ ウニポテト</p>
<p>④ うに焼</p>	<p>⑤ UNIKARA ウニランプ</p>	<p>⑥ ウニみそ</p>
<p>⑦ ウニのソフトクリーム</p>	<p>⑧ うにかけ</p>	<p>⑨ ウニの思い出</p>
<p>⑩ うにぎり</p>	<p>10月15日に高浜公民館で開催された コードモノ明日研究所 プレゼン大会 の様子を提案商品ごとに見ることができます。 各商品にどのような特徴があるのか御覧頂き、投票にご協力いただけると幸いです。</p> <p>コードモノ明日研究所 2期生</p>	

動画を視聴頂くには、パケット通信が必要になります。通信料にご注意下さい。1商品 約50MBの通信料がかかります。



厄介者ウニ 商品化提案

おにぎり ふりかけ ランプ

高浜小6年がプレゼン

高浜町沖合の藻場を食い荒らすため駆除されているムラサキウニの利活用について、高浜小6年生が15日、高浜公民館で商品化案をプレゼンテーションした。10班がおにぎりやふりかけ、ソフトクリーム、殻を使ったランプなど柔軟な発想を生かした商品を提案した。今後、投票をして上位となった案の商品化を目指す。

同校6年生は昨年からの、地元のみちづくりグループ「高浜明日研究所」と協力して、地域課題の解決に取り組むプロジェクト「コードモノ明日研究所」に参加している。ムラサキウニの問題を知った今年の6年生42人は、プロジェクト2期生として6月から、活用策を探ってきた。この日は同グループの4人をはじめ

野瀬豊町長ら約30人がプレゼンテーションを見守った。ウニのおにぎりを提案したグループは、販売方法のアイデアを説明。「厄介者のウニが、みんなが大好きなおにぎりになったらすてきだと思いませんか」と投票を呼び掛けた。ほかの班も「トーストのお供にうにみそを」「ふりかけは生臭くなく、パスタにもかられる」と商品の特徴を一生懸命に訴えた。1〜5年生と教職員、保護者らによる投票結果を参考に、商品化を目指すアイデアを決め、来月にも発表

め保護者、杉本達治知事、(川上桂)



ムラサキウニの利活用をプレゼンテーションする児童=15日、高浜公民館

おおおい町立
佐分利小学校

佐分利小学校

4年生 総合的な学習(つながり)

探求課題 「佐分利地域の産業や歴史文化を保存する人々の工夫や努力」

(内容) 調査・体験・発信活動

①調査

- ・「佐分利の歴史を学ぶ会」
- ・一滴文庫、郷土資料館の学芸員

⇒昨年度体験した5年生からの聞き取り

②体験

- ・古民家取り壊し(イベント)とのコラボ
- ・石山城発掘(公民館イベント)に参加(希望者のみ)

⇒平日に開催(全員が参加可能なように)

③発信

- ・新聞、ホームページ、学級通信
- ・表現タイム
- ・家庭・地域・学校協議会

(今後) 他校との交流



若狭町立
熊川小学校

地域の特色を生かしたふるさと学習

低学年…まちのたんけん、野菜作り

中学年…食、歴史文化、福祉

高学年…パンフレット作り、PR活動

高学年…パンフレット作り、PR活動

ふるさと学習で育む資質・能力

- 主体的に学習に取り組む態度
- まとめたり表現したりする力
- コミュニケーション力
- 仲間と協力する態度

自己肯定感

熊川宿

校門

福祉施設、公民館

評価方法

- 行動観察
- 個人ファイル

今後の課題

- より探究的に
- より高い目標設定（地域への提言…）
- タブレット機器の活用

